

要ヶ丘



発行

海士町立海士中学校

住所 海士町大字海士九四四番地
TEL 08514(2)0744
E-mail ama-jhs@town.ama.shimane.jp

三学期を迎えるにあたって

『自立』を促す

校長 真野 幹

三学期は、学年のまとめをする時であり、また一年の始まりでもありません。子どもたちが目標を持って充実した生活を送れるようにしていきたいと思えます。

今学期の重点は、『自立』ということとです。それぞれの学年に応じた『自立』を促したいと考えております。始業式では、『**何事も自分で決めて、自分で解決し、自分で責任をとる。**』ということをがんばってほしいと生徒に話しました。

子どもたちは、早ければ十五歳で親元を離れ、自立しなければなりません。それまでに自立した生活ができるよう、学校では以下のように配慮して子どもたちに関わっていききたいと思えます。

まず一つ目は、あまり手出し、口出しをしないこと。(ただし、躰は別です。)できるだけ、子どもたちが自力で解決できるよう見守ることを大切にします。二つ目は、失敗しても良いから、子どもたちにチャレンジさせること。失敗から学ぶことはたくさんあります。親や教師が、失敗させないようにはしていると、いつまでたっても子どもは自立できません。子どもたちの成長する力を信じて、子どもたちにやらせてみたいと思えます。

各ご家庭におかれましても、成長段階に応じて、子どもができることは、やらせていただきたいと思います。

年頭所感発表

僕が今年頑張りたいことは勉強です。僕は勉強が苦手で、昨年は自分でもこのままではだめだと思ったので、今年こそは頑張ってテストなどで高い点を取りたいと思えます。

そのために、まずは授業中に先生の話をしっかりと聞きたいです。そして、わからないことは先生や友達に質問し、わかることは積極的に手を挙げて発表したいと思えます。他には、自学ノートを使ってしっかりと勉強したいです。僕は自学ノートで決まった教科の勉強しかしていなかったし、いつも同じようなやり方で勉強してしましました。これからは、友だちのノートなどを参考にし、少し工夫しながら五教科すべての勉強をしたいです。

今年よりも授業や家庭学習に力を入れて、テストや学習大会などで高い点が取れるように頑張ります。
【二年 男子】

今年僕は、何事にも全力で取り組むことを目標にしました。その中でも、特に二つの事を頑張りたいです。

一つは、はじめをつけられるようになることです。昨年は、自分の目標にはじめをつけると書き、一・二学期ははじめをつけられる時とつけられない時があつたので今年、僕たち二年生が中心となり次の一年生の良きリーダーとしての存在でいなければならぬのではじめをつける時とそうでない時とをきちんと判断できるようにしたいです。もう一つは、嫌なことから逃げないことです。今まで嫌なことから逃げることが沢山ありました。例えば、体育の前の五分間走では、疲れたを理由に少しスピードを落としたり友達と少しだけ話をしたりなど嫌なことから逃げていました。

今年はじめをつけ、嫌なことから逃げずに強気で色々な事に挑戦していきたいと思えます。
【二年 男子】

私が頑張りたいことは挨拶と勉強です。挨拶は小さい声になることがすごく多いので相手に聞こえるように心がけたいです。勉強はあまり得意ではありません。私は字が途中で汚くなってしまうこともあるし、集中力が切れることがあります。だけど、『1Week』の時はきれいに、そして集中してできるように頑張りたいと思えます。
【二年 女子】

なので、いつもきれいで先生が見やすく、集中力を続けて勉強したいと思えました。

挨拶は、大きな声で相手に聞こえるようにすること、笑顔で挨拶ができるようにしたいです。勉強はながら勉強をせずにテレビを消して集中力を続けるようにして字が汚くならないように気をつけたいです。今よりずっといい自学になるようにしたいです。挨拶も小さな声にならないように自分から挨拶ができるようにしたいです。
【二年 女子】

私が今年頑張りたいことは三つあります。一つ目は勉強です。入試に向けても、高校生になってから困らないためにも、苦手なところを中心に頑張りたいです。二つ目は早寝早起きをするということです。私は早起きをするのが苦手で、勉強などで寝るのが遅くなると早く起きられないので、今年早寝早起きを心がけたいです。また、私は休みの日になると朝遅くまで寝ているので、今年休みの日でもちゃんと早起きをするようにしたいです。三つ目は苦手なことにも自分から挑戦することです。私は好きなことや得意なこととは自分からするけど苦手なことは自分からはやらないので、今年が苦手なことにも自分から挑戦するようにしたいです。今年入試があつて合格したら高校生になるので、今まで以上に、何事にも一生懸命取り組みたいです。去年よりも楽しい年に行きたいです。
【二年 女子】

生産者交流給食

一月二十五日(水)、学校給食に携わる方々をお招きして生産者交流給食を行いました。この交流給食は、毎年一月二十四日～三十日の全国学校給食週間(食べ物の豊かな現代において『食の大切さと感謝の心』を忘れないでほしいと文部科学省が定めた)に合わせて行われます。子どもたちが毎日食べている給食ですが、たくさんの方の力で成り立っています。特に地域生産者の皆さんは、高齢の方も多中で、作った野菜を給食や地域に提供してくださっています。そのことをしっかりと感じ、そして感謝して、これからも毎日の給食をいただいでほしいと思えます。
【給食担当 村上】



校内かるた大会

一月十九日(木)、本校の文化委員会主催の校内かるた大会が行われました。日本の伝統である百人一首を用いて、ペアでの獲得枚数を競い合いました。一年生から三年生の縦割り班で行われましたが、日本の伝統文化に親しむとともに学年を超えて生徒同士の交流を深めました。



一年生総合的な学習発表

一年生の総合的な学習の時間では、「海士の宝探し〜自分たちの知らない海士を見つけよう!」をテーマに、生徒一人ひとりが自分で設定した課題について地域での体験活動を行いました。そして、調べたことをまとめ、地域の方々の前で発表しました。この学習を通して、今まで知らなかった海士の魅力や中学生の視点でたくさん見つけることができました。また、地域の方にいろいろなことを教えていただくことで、子どもたちも楽しく学習に取り組むことができました。今後はこの学習をさらに深め、来年の修学旅行時の海士町PRにつなげていきます。左記に生徒の感想を紹介します。

【一年担任】

私は、「海士の町づくり」について発表しました。発表では緊張しましたが、最後までやりきることができました。今回の学習を通して、海士町について今まで知らなかったことをたくさん見つけることができました。友達もみんな一生懸命頑張っているなと思いました。また、発表を聞きに来てくださった方がたくさんいてうれしかったです。これから修学旅行にむけて、もっともっと良い発表になるように頑張りたいと思います。

【女子生徒】



僕は、海士の方言について調べました。調べたことをまとめる作業に時間がかかってしまい大変でした。実際に自分で発表し、友だちの発表を聞いてみて、聞いている人に聞かせるように発表するとうまくいくということにわかりました。これからも、方言などの昔からある文化を大切にしていきたいと思っています。

【男子生徒】



スキー研修について

一月六日(金)〜八日(日)まで大山において一年生がスキー研修を行いました。最初は、遠慮がちだった生徒が練習していくにつれ、自分の思うように滑るようになると積極的にリフトに乗り、スキーを楽しんでいました。このような貴重な体験をさせていただいた海士町公民館の皆様へ感謝し、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。左記に生徒の感想を紹介します。

【体育担当教員】

私は最初スキーに行くか迷っていましたが、「スキーなんてもう行けないかも」と思っ、行ってみようと思いましたが、まさか私が班長になるとは思いませんでした。私はスキーが初めてだったので、最初はすごく怖かったけど、二、三日目は楽しく滑れるようになって、楽しかったし気持ち良かったです。スキーができたとき、達成感がありました。

ました。私は、これからももっともつとやつたことないことにチャレンジしていろいろな意味で強い人になりたいです。



【女子生徒】

冬休みに「大山スキー研修」があり、一年生のみんなは初めての体験をすることができました。最初は、スキー板のはき方や転び方など基本的なことを教えてもらってから、一人ずつ滑る練習をしました。はじめはなかなかうまく滑れなかったけど、二日目の午後からは自分たちだけでリフトに乗り、滑ることができました。



【女子生徒】

今回は、みんなあまり体験できないようなことができたのでそれぞれよい経験になったと思います。また、機会があれば行きたいです。

隠岐小中学校習字展結果

- | | |
|-----------|-----------|
| 金賞 | 二年 女子 |
| | 一年 女子(二名) |
| 銀賞 | 三年 女子(二名) |
| | 二年 女子(二名) |
| | 二年 男子(二名) |
| | 一年 女子(二名) |

銅賞

- | |
|-----------|
| 三年 女子(二名) |
| 三年 男子(二名) |
| 二年 女子(二名) |

命の大切さを学ぶ教室

鳥根県作文コンクール結果

- | | |
|----|-------|
| 入選 | 三年 男子 |
|----|-------|

教員による随想

先日二年生で立春式に向けての原稿書きをしました。三年生では高校入試に向けて願書を書きました。そして一年生ではドリームプランに向けて取り組んでいます。それぞれの学年で自分の進路に向けて取り組む活動をしています。

数十年前私も初めて自分の進路決定を行いました。当時私は将来就きたい職業がこれといってなく、ただただ剣道がしたくて県内でも強豪の高校に進学しました。練習も厳しかったですが何よりも先輩後輩の上下関係がとにかく厳しかった印象があります。この時期になると思いますが、先輩が服を脱ぐと同時に温めた剣道着を着させるといふ世にも奇妙なことをしていたのを覚えています。入学前にわかっていたら入学しなかったかもとも思いました。また、寮での生活では、特に一年生の時は、自分の事はさておき先輩のためみんなのために動く日々でした。

高校三年生となり、部活も引退してからは、第二の進路選択を迫られます。

た。恥ずかしい話ですが、就職して自分で責任をとれるかどうか不安となり、大学進学を選択しました。剣道を活かしての大学進学だったので、大学でも剣道をそれとなく続けました。大学でも厳しいことばかり。毎日練習後は正座をして三時間のミーティング。この時期は朝五時から寒稽古を十日間。「大学生にもなって俺は何をしているんだ。」と思う日々もありました。大学を卒業によいよ就職することになり、一時は隠岐の島町のプールでインストラクターとして正式に決定していましたが、ある人から「中学校の体育の先生がいらないからやってみないか」と言われました。この時教員にもなりたい夢があった反面、インストラクターは正式採用。学校の教員は講師。来年どうなるかわからなかったり、俺に採用試験に合格できるか不安だったり、悩んだあげく学校の教員を目指すことにしました。そこからはなんと十五回も採用試験を受けることになりました。

このように人生には様々な場面において自分の将来について考え、多くの選択肢の中から決断をすると思います。決断に至るまでには不安もあつたり、悩んだりしましたが私は今まで自分で決断し、その決断に自覚と責任を持って私は生きてきました。そしてこれからも様々な場面で決断をする時が来ると思いますが、この決断で良かったと前向きに思えるよう日々の生活を充実して生きていきたいと思っています。今日この頃です。